数学科(数学Ⅱ)学習指導案

指導者:教育実習生 中橋 健太郎

1. 日 時 令和○年○月○日(金)第○校時(00:00~00:00)○○教室

2. 対象学級 2年 \bigcirc 組 理系クラス $(m 名: 男子 k 名, 女子 \ell 名)$

3. 使用教材 教科書: 改訂版 高等学校 数学 Ⅱ (数研出版)

副教材:4プロセス 数学 II+B (数研出版), ワークシート

使用機材:モニター

4. 生 徒 観

対象の生徒は...

5. 単元名 第5章指数関数と対数関数 第2節対数関数

6. 単元の目標

- (1) 対数の定義や性質を理解し活用することができる.
- (2) 対数関数の式とグラフとの関係について多面的に考察し、それらの特徴を理解することができる.
- (3) 対数の考え方を応用し様々な問題を解くことができる.

7. 単元の指導計画

• 対数とその性質 (3時間)

対数関数 (5時間)

• 常用対数 (2時間;本時はこの2時間目)

8. 単元の評価規準

[A]	(B)	[C]	(D)	
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解	
① 対数の定義や性質を理	① 対数関数のグラフから	① 対数関数の考え方にお	① 対数の定義・性質が理	
解しようとする. ② 対数	値の大小をとらえること	いて事象を数学的に表現・	解できる.② 対数関数の	
関数とそのグラフや値の	ができる. また, その思	処理する仕方や推論の方	意味や対数の性質を理解	
変化に興味をもつ. ③ 対	考の過程を振り返り,方	法などの技能を身につけ	し,基礎的な知識を身に	
数の性質を用いて方程式・	程式や不等式を多面的に	ている.② 対数関数につ	つけている.③ 対数関数	
不等式の解や,関数の最大	考察することができる.	いて理解した事柄を他者	と指数関数の関係性につ	
値や最小値を求めようと		に説明できる.	いて理解できる.	
する.				

9. 本時の目標

片対数グラフについて理解し、その考え方を現実問題に応用できる.

• 片対数グラフと指数関数のグラフの関係性が理解できる.

● 片対数グラフをかくことができる.【C】

• 常用対数表を利用して α^{β} の値を求めることができる.

[C]

[D]

10. 本時の展開

時間	学習内容および学習活動	指導上の留意点	評価 (観点)
導入 (5分)	● 前回までの復習を行う.	• 常用対数表について復習する.	
展開 (40分) [5分]	世界の人口推移について考える。人口推移の表から 2015 年の人口がどれくらいであるか予測する。予測を発表する。	• プリントを配布する.	・積極的に取り組 んでいるか【A】
		・ 片対数グラフについて説明する. 特に指数関数を片対数グラフでかく と直線となることを確認させ、 2 点 $(a_1,b_1),(a_2,b_2)$ を通る直線の傾き は $(\log_{10}b_2-\log_{10}b_1)/(a_2-a_1)$ であることを強調する.	
[5分]	● 片対数グラフをかく.	グラフの概形が直線状になっていることを確認させる.	・積極的に取り組 んでいるか【A】 ・片対数グラフ
	● グラフから 2015 年の人口を予測する.	プリントの空欄を埋めさせる.	をかくことがで きる【C】
[10分]	 片対数グラフの考え方を用いて計算し、 2015年の人口を予測する。 片対数グラフにおける直線の方程式を求める。 	・片対数グラフの考え方を用いて計算し、2015年の人口を予測させる。* 計算の際、常用対数表を用いることを強調する。	・片対数グラフ の直線の方程式 を求めることが できる【C】 ・10 ^α の値を常 用対数表から求 めることができ る【C】
		前回の常用対数表の使い方と逆であることを強調する.常用対数と桁数の関係性に注意しながら、解説を行う.実際の結果と誤差について言及する.	
	片対数グラフが活用されている例として、最近では covid-19 があることを知る。		
まとめ (5 分)	● 本日のまとめ.	● 片対数グラフを利用することで先 を見通しやすくなることと常用対数 表の使い方について確認する.	